

広報 北馬城まちづくり

まちづくり皆でめざそう輝く北馬城

第73号 令和4年2月24日

発行：北馬城地区まちづくり協議会

広報部（問合せ：矢口 37 - 2988）

<http://www.kitamakitikumatidukurikyougikai.com>

楽しくて英語が好きになる！ 「世界で遊ぼう北馬城っ子タイム」 むつみ幼稚園にて来年度も実施

2年前、北馬城小学校長・むつみ幼稚園長・まちづくり協議会教育担当計3名で「世界で遊ぼう北馬城っ子タイム」を提案し、了承され、まちづくり協議会主催の行事となりました。

提案理由はむつみ幼稚園で英会話教室が行われているのに、

小学校では英語は3年生からで、2年間学びが中断してしまうからです。そこで対処策として“1,2年生対象の英語学習教室”を実現させました。「歌やゲームも含め、楽しく学べる英語タイム」ということで始めました。

むつみ幼稚園の一室をお借りして、月3回月曜日16時から40分間、講師は南文明先生です。先生は映像を駆使し、時にはギターを弾いたり、遊びを取り入れたり、とても楽しい時間になっています。

年間1回ずつ中国語とフランス語教室も行われ、1,2年生以外の学童保育の皆さんも参加しており、とても盛り上がっています。来年度も引き続き実施します。南文明先生、“元気な北馬城っ子タイム”ありがとうございます。

むつみ幼稚園・北馬城小学校 教育方針・連携等お聴きしました！ 安藤秀明園長 & 湯浅保彦校長



2月21日16時から、北馬城小学校校長室にて、園長と校長にそれぞれの教育について、いろいろとお聴きしました。

むつみ幼稚園では外国人講師による生きた英会話指導、小学校入学までの言語・文字指導の徹底、専門講師によるマーチング指導、野山に出て自然と触れ合う野外保育、音楽や絵画などのグループ指導など「明るく、元気で、根気強い子」をモットーに取り組んでいるとのこと。最も大切なことは「友達への思いやり」を育てることだそうです。

北馬城小学校の目指す児童像は、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい身体」を合言葉に、“ふるさとを愛し、共に考え学び合う、思いやりのある北馬城っ子”。教育力の高い北馬城地区の特徴を生かし、地域学習に力を入れながら、今まで伝統的に続けてきた一輪車乗りや百人一首などの活動も含め、一人ひとりを大切にしたい教育実践を具体的に伝えていただきました。特に地域学習を進めるにあたり、北馬城まちづくり協議会との連携を、より深めていきたいと抱負を語ってくれました。

本年度幼小連携については、「人権の花いっばい運動」「世界で遊ぼう北馬城っ子タイム」がありますが、さらにお互いの授業見学や情報交換会議も計画中で、そのような発展的連携案も聴かせていただきました。

(裏面へ)

3月行事予定

- 3月 3日 広報部会 (9時～東ふれあい館)
- 3月 4日 無駄話の会 (19時～東ふれあい館)
- 3月 19日 4役会議 (9時～東ふれあい館)
- 3月 22日 役員会議 (19時～東ふれあい館)

御許山 (宇佐神宮 神の山)



サンキューロード道しるべ11に ベンチを設置

すわち、御許山と青い空、流れる雲を・
「山頭火」気分満喫・!

2月に入り、サンキューロード道しるべ6番に続き11番にもベンチが設置されました。久保副会長が足場をセメントでしっかり固めてくれました。散歩途中、ご利用ください。

ベンチに座って御許山等自然をゆっくり眺めてみませんか。



コラム

山頭火と寄藻橋

寄藻川に架かる寄藻橋は旧国道にとって重要な橋だった。宇佐神宮から杵築・別府・大分方面へ行くにも、この橋を必ず通った。

自由律俳句で有名な俳人「山頭火」も昭和4年と13年二度宇佐神宮を訪れている。4年には国東半島方面へ、13年には別府方面へ。当時は歩いての旅、この橋を渡り、旅する山頭火が想像できる。

山頭火の作品で「分け入っても分け入っても青い山」が一番有名でしょうか。宇佐神宮では、次の二句が詠まれている。「松から朝日が赤い大鳥居」「春霜にあとつけ詣でる」。現在、宇佐神宮境内の歌碑に朱色で刻まれている。

サンキューロード道しるべ6番7番8番に山頭火の代表作三句を掲載している。

6番「さてどちらへ行こうか風が吹く」7番「どうしようもない私が歩いている」8番「ついてくる犬よおまえも宿無しか」五七五の定型をふまない自由律俳句で感じたままを素直に表現している。

破産してすべてを失い、放浪の旅に出た「山頭火」、西の芭蕉と言われ今もなお絶大な人気を誇る。なぜだろう・

